

# とままえ

# 12

No.580



風かおる  
人が輝き  
躍動するまち



## まちびと 百景

### いじめの根絶に向けて

11月7日(土)に公民館で開催された留萌管内「ストップ・ザ・いじめ」子ども会議は、留萌管内中部地区の小中学生、高校生が参加し行われ、この会議に参加した児童生徒により「いじめ根絶宣言」が作られ、会場で披露された。

「私たちは、一人一人の長所・短所を認め合い、みんなで仲よく助け合って楽しく通えるいじめのない学校にすることを誓います。」

これからも本町からいじめが出ないよう、家庭はもちろん地域全体で見守っていききたいものです。

- 苫前町表彰式…2
- おしらせ道ネット協定書手交式ほか…3
- 公民館フェスティバルほか…4
- 中学生舞台芸術鑑賞事業ほか…5
- 町内フットサルフェスほか…6
- 年末年始の町内各施設・機関…7
- 健康ばんざい…8
- 学びの広場…9
- 国民健康保険ガイド…10
- 国民年金・川柳…11
- すまいる情報…12～13
- 町民舞台発表会ギャラリー…14

### まちの人口

人口/3,710人 (男/1,733人：女/1,977人)  
世帯数/1,658世帯 (11月30日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

# 平成二十一年度 苦前町表彰式

平成二十一年度苦前町表彰式が、十一月三日の「文化の日」にあわせて「とままえ温泉ふわつと」で挙行された。  
本町の発展の礎となられ、各分野においてご尽力された受賞者の方々に、心からの賞賛と感謝の言葉を町民の皆様とともに捧げ、祝福申し上げます。

この表彰は、政治、経済、教育、文化、スポーツ、福祉などの各分野で功績のあった方々をはじめ、永年勤続者で業務に精励された方、多額の寄附をされた個人や団体などを表彰するもの。

表彰式では、森町長より「本町の発展と振興のために、献身的にご努力された方や善意を寄せられた方々が数多くおられることは喜ばしいことです。景気が低迷し町政も大変苦慮している。今後も本町のためにご指導ご協力をいただければありがたい」と挨拶した後、一人一人に表彰状並びに感謝状を贈呈した。

今年度の表彰は、自治、産業及び教育文化スポーツ功労者として五名に功労表彰、自治、社会福祉関係における永年勤続者三名に勤続表彰、町の公益のため、多額の金品の寄附をされた四名に善行表彰を、そして町政振興のために寄附をされた四名に感謝状を授与した。また、町内に八十年以上

在住し、家業等を通じ町の発展に貢献されたとして、二十三名にも感謝状と記念品が贈られた。

星野恭司町議会議長は「これまでのご労苦に対して敬意と感謝を申し上げます。先駆者の皆様のおかげで本町も発展することができ、長引く不況により、町や企業、商店なども苦慮している。厳しい時代こそ独自性を活かした取り組みが必要であり、互いに知恵を出し合いながら発展のため、一層のご協力とご支援をお願いしたい」と祝辞を述べた。

受賞者を代表し功労表彰を受賞した篠原隆雄さんからは「微力ながら町のための尽くしてこられたのは、お集まりの来賓の方々や地域の皆さんのご指導等があったお陰と思っております。これからも僭越ながら町の発展のために尽力していきたい」と感謝の言葉が述べられた。

受賞者は、次のとおりです。

(敬称略)

## ◆功労表彰

### [自治功労者]

篠原 隆雄 (古丹別)

選挙管理委員会委員として12年余の永きに亘り、選挙事務の管理、適正執行に貢献した。

### [産業功労者]

池田 宣良 (古丹別)

昭和43年苦前町農業協同組合に勤務、以来41年余に亘り農業振興に尽力し、昭和63年に経済部長、平成8年からは参事等の要職にあつて農協運営に専心、本町農業発展に貢献した。

上牧 博 (古丹別)

昭和43年苦前町農業協同組合に勤務、以来40年余に亘り農業振興に尽力し、平成12年から資材部長等の要職にあつて農協運営に専心、本町農業発展に貢献した。

### [教育文化スポーツ功労者]

小池 千丈 (力 昼)

苦前町教育委員として12年の永きに亘り、教育の振興発展と教育行政運営に貢献した。

故 木山 郁雄 (古丹別)

昭和48年の苦前町くま獅子保存会結成以来、くま獅子舞の独自の振り付けを36年余の永きに亘り指導、本町無形文化財の継承発展に貢献するとともに、苦前町スキー連盟の会長、指導者などを26年余の永きに亘り歴任、スポーツ振興にも貢献した。

## ◆勤続表彰

### [自治関係]

伊勢 文雄 (上 平)

駐在員として10年以上勤続、本町の自治振興に尽くした。

瀬川 晴夫 (苦 前)

交通安全指導員として10年以上勤続、交通安全運動の推進に尽くした。



### [社会福祉関係]

合田 明光 (東 川)

社会厚生委員として10年以上勤続し、地域社会及び住民福祉の増進に尽くした。

## ◆善行表彰

岸田 宗敏 (苦 前)、堀 泰晴 (川崎市)

運上 欽也 (厚岸町)、石井 俊則 (岩見沢市)

町の公益のため、多額の金品を寄附した。

## ◆感謝状

### [寄附]

齊藤 浩正 (古丹別)、矢作 精教 (東京都)

大川紀美子 (古丹別)、西田 清一 (苦 前)

町の公益のため、多額の金品を寄附した。

### [在住80年以上]

白府 義雄 (上 平)、小西マサ子 (苦 前)

竹花マサエ (古丹別)、横岡 重勝 (古丹別)

上原 春男 (香 川)、丹羽禮治郎 (長 島)

倉田 和雄 (苦 前)、高橋 昇 (苦 前)

伊藤 梅子 (九 重)、丹羽 正己 (岩 見)

松原 悦子 (九 重)、中森 松二 (旭)

嘉野 利巳 (古丹別)、横野 勝美 (苦 前)

山根 克巳 (古丹別)、中村ユキ子 (香 川)

能戸 芳信 (力 昼)、小野 義己 (苦 前)

菊地 勝見 (力 昼)、坂川 黙音 (旭)

横岡 愛子 (古丹別)、高須賀 耕 (古丹別)

今 縫子 (古丹別)

苦前町内に80年以上在住し、家業等を通じ町の発展に貢献した。





## 肌寒さに負けず奉仕活動実施 ～JA苫前町女性部による幸寿会管理施設への奉仕活動～

JA苫前町女性部（早川友子部長）32名が社会福祉法人苫前幸寿会（齊藤長蔵理事長）が管理している施設の窓や通路などの清掃などの奉仕活動を10月26日（月）に実施した。

これまでは踊りの披露などの慰問活動を中心に実施していたが、近年のインフルエンザやノロウイルスなどの流行による入所者・利用者への感染を防ぐため、苫前幸寿会管理施設への出入りを規制していることから、一昨年より窓ふきなどの奉仕活動へ転換した。



冒頭に、石川裕一苫前幸寿園長から「JA苫前町女性部の皆さんには毎年、このような奉仕活動をしていただき大変助かっております。」との挨拶のあと、曇り空で肌寒い中、女性部員と幸寿園に研修できている旭川市内の専門学校生3名及び職員も協力し、窓ふきや施設周辺に散乱している落ち葉の回収などを精力的に行った。

## 「おしらせ道ねっと」協定書手交式

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（角野中原社長）は、北海道開発局留萌開発建設部及び本町との三者協働による「道の駅」における電光掲示板付き自動販売機を活用した情報提供事業「おしらせ道ねっと」の運用に係る協定書を10月28日（水）とままえ温泉ふわっとにおいて締結、運用を開始した。これまで町内において電光掲示板付き自動販売機の設置は、役場、公民館、力昼生活館に続き4台目となる。「おしらせ道ねっと」は、開発建設部からの道路情報や町の地域、イベント情報などを本町のパソコンから遠隔操作により自動販売機の上にある電光掲示板に表示するとともに、災害発生時には町の判断により自動販売機内の飲料を無料で提供できるようになっている。

運用開始にあたり森町長は「このような申し出は本町の防災体制の整備に大変効果的であり、感謝申し上げる。これからも万全を期した防災体制の確立を図っていきたい。」と述べた。



## 総合的な学習の時間「苫前町のよいところ再発見」発表会



10月29日（木）苫前中学校（半澤豊秀校長）体育館において総合的な学習の時間「苫前町のよいところ再発見」発表会が開催された。これは、1年生から3年生の全校生徒40名を縦割りにグループ編成し、地域班・産業班・名所班・自然環境班・ゆかりの人物班の5班に分かれ、4月から役場や関係事業所等への聞き取り、アンケート調査、インターネットによる調べ学習などを行い、その結果を模造紙にまとめ今日の発表会となった。

それぞれの班からは、その事柄の長所と短所をしっかりとまとめている班や調査したアンケート結果を上手に比較、発表している班も見られた。また、まとめた模造紙の他に模型を作ったところや似顔絵で人物紹介するところ、紙芝居や寸劇、クイズ形式にして

説明するところなど発表方法は様々。特に自然環境班の発表では、とままえ＝くまのイメージが強いので、もっとくまをPRした方がよいとの指摘も。本町にくまをPRするためのグッズも少ないため、新たなベアグッズとしてくまのイラストが入ったTシャツや背中をかくための「孫の手」のくまの手版の「くまの手もかりたい」などユニークな試作品を作って発表するなど工夫した発表をするところも見られた。

講評で半澤校長は、「各班での創意工夫が見られた。まちでアンケート調査や聞き取りなども行っていたが、地域の人の協力があったから今日の発表ができたということ認識してほしい。協力していただいた方々に感謝することが大切であり、皆さんは地域の人に守られて過ごしていることを忘れてはならない。」と述べていた。



## 留萌管内の米を食べよう ～留萌管内産米PRキャラバン来庁～

11月9日（月）町長室に留萌管内産米PRキャラバン隊が来庁し、消費拡大のためのPRを行った。キャラバン隊は留萌地区農協米対策協議会の林弘之会長と北海道米キャンペーンガールの山崎有加里さんほか14名。北海道米における留萌管内産米のシェアは4パーセント程度だが、品質は全国トップクラスでおいしさの指標とされる「低タンパク米」の生産実績は、過去4ヶ年連続で全道一となっている。そのことから本町においても留萌管内産の米をPRしてほしいとのこと。



森町長は、「道内や道外の会議などでも留萌管内産米だけでなく、農業・漁業についても積極的にPRしている。本町でも農漁業に力を入れているので、国や道に対しても支援をお願いしている。」と語った。

この後、林弘之会長とキャンペーンガールの山崎有加里さんから森町長と消費者協会の間宮由紀子副会長になつぼしの新米10キロ入り2袋が贈呈された。

## 催しが盛りだくさん～公民館フェスティバル・図書室フェスティバル～

11月1日(日)～3日(火)までの3日間、公民館フェスティバルと図書室フェスティバルが行われ、期間中約600名の来場があった。本年のフェスティバル初日は、日曜日で来場者が多く見込める状況だったが、前日からの雪が積もったこともあり来場する方も例年に比べ少なめであった。

内容は、町内の各文化団体・サークルや保育所・学校、個人などあわせて234名、約580点の展示コーナーのほか、子ども用品のリサイクル広場やカンガースクール「親子でピザづくりに挑戦」、親子人形劇場などの体験や鑑賞ものも賑わいをみせるとともに、町内文化団体・サークルによる創作体験として陶芸、ツリーのかべ飾り、エコクラフトなども実施された。

一方、図書室フェスティバルも同日に開催され、本を利用してやってみよう「アウトドアクッキング」として豚汁と鮭のホイル焼きを野外で調理を行ったほか、図書室サポーターによる「おはなし会」での本の読み聞かせ、手遊びや影絵の



上演。工作教室では、海の生き物マグネット、海の生き物モビールや絵本づくりなどの催しや遊べる図書室としてクイズやおはなし迷路など小学生や幼児を対象とした親しみやすい図書室づくりに向けたもの、恒例となった本のリサイクル市として除籍した図書や雑誌の提供なども行われ、例年より盛りだくさんの内容で行われた。親子で楽しめる内容が多く、笑顔あふれるフェスティバルであった。



## いじめ根絶を目指して～本町で留萌管内「ストップ・ザ・いじめ」子ども会議開催～

児童生徒がいじめ問題について、自ら考え行動を見つめ直すことを目的に留萌管内いじめ・不登校対策協議会などが主催する留萌管内「ストップ・ザ・いじめ」子ども会議が11月7日(土)公民館において開催され、パネルディスカッションに町内の小・中学生、高校生がパネラーとして参加、自分の考えやグループで話し合ったことなどを述べた。冒頭では「ネットトラブル根絶!メッセージコンクール」管内作品表彰式が行われ、ポスター作品部門では古丹別中学校2年生の菊池彩圭さんが優秀作品となる教育局長賞を受賞、表彰された。

パネルディスカッションでは、本町から古丹別小学校6年生の齊藤ななみさん、同小学校6年生の久保杏奈さん、古丹別中学校2年生の福田レナさん、さらに苫前商業高等学校2年生の立崎麻衣さん、同高等学校2年生の向野咲季さん、そして羽幌高等学校2年生の瀬川直生くんの計6名が参加した。



それぞれの学校での取り組みを発表したあと、小・中・高のグループに分かれ「仲間はずれによるいじめ」と題した事例について「もし自分がいじめられている立場だったら」「自分が学級の一員だったらどうするか」などについて話し合いを行った。「もし自分がいじめられている立場だったら」の問いに小学生・中学生グループでは「はっきりいやという」「いじめる理由を問い詰める」と発表があり、高校生グループからは「いやなことはいやというが、小さな事であればこだわらない。ただし、自分が悪いことが原因となっていることもあるため、自分が悪いことであれば直すし、自分が悪くなければきちんと相手にいう」との意見も。また、「自分が学級の一員でいじめられている人がいたらどうするか」の問いには、小学生・中学生グループは「先生に相談する」「やめるようにいう」の意見が出たが、高校生グループからは「いじめに荷担するのはダメなことだが、いじめられる人を助けるのもカッコつけていると思われ、自分がいじめられる可能性もあるため、かかわらない」という現実的な意見も出た。

最後に「事例のようないじめが自分の身の回りでおこらないようにするためにはどうするか」の問いには、「その人の悪い部分は影で言わずに、直接本人に言う」「クラスの輪を大切に、日頃からいじめが起らないような環境を作る」「小さいことでよくよしない。失敗は誰にでもあるという前向きな考えが必要」などの意見のほかに「いじめる人の考え方を変えるためには、家庭での小さい頃からのしつけが必要である」など家庭に言及する意見も出た。

会場からは「いじめに耐えることはすごく困難なことであり、その人の苦しみを考えてあげることも必要。一人一人違うことが当たり前であるため受け入れてあげることが重要」などの声が出された。

最後に「いじめ根絶宣言」として11名のパネラーが話し合って作られた宣言を読み上げ、いじめ根絶を誓った。今の子ども達がいじめについてどのように考えているかわかり、大変意義ある会議であった。





## 日本の伝統芸能を楽しむ ～中学生舞台芸術鑑賞事業～



11月9日(月)古丹別中学校体育館において中学生舞台芸術鑑賞事業が行われ、苫前・古丹別両中学校と苫前商業高等学校の生徒が日本の伝統芸能の一つでもある落語を鑑賞した。

この日の出演は、林家二楽師匠と柳亭楽輔師匠の二人。まず、柳亭楽輔師匠による寄席入門として落語の歴史や落語の世界の話をした後、体験コーナーとして扇子を使って様々なものを表現することと小話の体験を行った。古丹別中学校の佐瀬正幸教諭と古丹別中学校2年生の前川祥希さんと同校1年生の鈴木章太くんが「そばを食べる」に挑戦したが、ぎこちない仕草やオーバーな表現に会場は笑いに包まれた。

また、林家二楽師匠の紙切りは、昔話の「ももたろう」。からだを小刻みに揺らしながらのハサミさばきによってできた作品に会場から感動の声と拍手がおこった。また、会場からのリクエストがあった「シンデレラ」や「かぶとむし」も即興でつくり、歓声が上がった。

トリは、柳亭楽輔師匠による落語「まんじゅうこわい」でも楽輔師匠の突然の大声や豊かな表情におどろきや笑いが絶えず起こる中、楽しい時間が過ぎていった。

## より健康なからだをめざして ～平成21年度国保ヘルスアップ事業からだすっきりしま専科～

平成21年度国保ヘルスアップ事業からだすっきりしま専科の開講式が11月11日(水)公民館で開催された。この事業は、内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣予防のための特定健康診査・特定保健指導の一環で行われている。

講義では「メタボってなに?失敗しないダイエット!」と題して古田裕子先生を講師として教室が進められた。古田先生は、薬剤師や健康運動指導士、早稲田大学オープン教育センターで非常勤講師などの要職のほか、NHK「きょうの健康」にも出演、活躍されている方。



メタボリック症候群とは、食事・運動・休養のバランスが崩れることで起こるものであるため、この3つのうち自分の弱いところを改善することで数年後に変化をもたらすこと。また、内臓脂肪から中性脂肪や糖のバランスを崩す物質が出ていることから、内臓脂肪を減らすことが重要と話した。さらに、様々な疾病を引き起こす要因となるメタボリック症候群は予防すれば改善できるため、定期的な運動の継続やバランスのよい食生活が必要と訴え、それらを継続していくためのヒントを参加者に伝えていた。講義の間には、イスに座ったまま太ももの筋肉を鍛えることができる運動や肩・腕のストレッチなども行い、自分の体の機能を確認しながら行うなど工夫されていた。この後、参加者は生活改善のため自分のできる範囲で食事の調整もしくは運動の継続の計画を立てたり、歩数計の使用法の説明を受け、生活改善の意欲を高めていた。

からだすっきりしま専科は11月～2月まで6回実施される予定です。ご質問等があれば町民課けんこう係保健師までお問い合わせ下さい。

### 古小フェスティバル

11月14日(土)古丹別小学校(岩村直幸校長)において古小フェスティバルが開催された。

こちらは全学年を縦割りに6班に分け、各班でスポーツの出店や射的・塗り絵などの出店が数多く並んだ。

また、PTAによる喫茶店や焼き鳥、教職員によるドーナツなどの無料配布なども行われ、子どもも大人も一緒になって楽しんでいった。



### フェスティバル in 苫小

11月7日(土)苫前小学校(八谷芳博校長)においてフェスティバル in 苫小が開催された。

3～6年生の各学年ごとのお店として「ウインドカーレース」や「ヘキサゴン・ザ・苫前」等趣向を凝らした内容が盛りだくさんに行われた。

特に6年生「ヒュードロドロ屋しき」は行列ができるほど盛況だった。



### 古丹別保育所お遊戯会

11月15日(日)公民館において古丹別保育所(川森のり子所長)のお遊戯会が開催された。

ネコやカラスなど、カラフルな衣装を着た園児が曲にあわせてお遊戯や劇を行う姿に会場からもたくさん拍手がおこった。

中にはハッスルしすぎて転んだり、踊りを間違えてしまう子もいたが、元気いっぱい姿が見られた。



### 苫前保育園おゆうぎ会

11月14日(土)苫前保育園(青木久美子園長)のおゆうぎ会が同保育園で開催され、44名の園児たちが元気いっぱい、歌やゆうぎを披露した。

年長の藤組は、最後のおゆうぎ会。オペレッタの「花さかじいさん」では、演技も衣装もばっちり決まって、とても上手でした。



決勝リーグのみ記載

	消防選抜C	カロリーズ	サンダーバード
消防選抜C		× 0-4	× 2-3
カロリーズ	○ 4-0		△ 4-4
サンダーバード	○ 3-2	△ 4-4	

PK戦：カロリーズ 1-0 サンダーバード



優勝  
カロリーズ  
準優勝  
サンダーバード  
第3位  
消防選抜C

11月14日(土)スポーツセンターにて町内フットサルフェスティバルが開催され、町内から7チーム約40名が熱戦を繰り広げた。予選として7チームを2組に分け、トーナメント方式で行い、勝ち残った2チームと敗者復活で勝ち残った1チームが、総当たりの決勝リーグを行い、優勝を争った。華麗なテクニクで相手を抜き去ったり、強烈なシュートを決めたりする選手もいたが、中にはバテバテの選手もチラホラと。決勝リーグでは、共に1勝ずつしたカロリーズとサンダーバードで事実上の決勝戦が行われ、4対4で決着がつかずPK戦となったが、ゴールキーパーの活躍により1対0でカロリーズが2度目となる優勝を納めた。

町内フットサルフェス

冬期間除雪委託業者決定 除雪作業にご協力を！

冬を快適に過ごすため、169路線(94キロ)の生活路線や公共施設、産業道路の除雪を実施しますので、次の点にご注意いただき、ご協力願います。

- 早朝から除雪を開始し、午前7時完了予定ですが、大雪や吹雪で遅れることもあります。
- 原則、緊急時以外は午後7時以降の除雪は行いません。ただし、急病患者など緊急を要するときは、役場建設課又は道路維持管理事業協同組合へ連絡願います。
- 路上駐車や公共施設駐車場への夜間駐車は、除雪作業の妨げとなりますので、車庫等へ移動願います。
- 町が指定している場所以外の民地の空き地の雪は、除雪しませんので、皆様のご理解をお願いします。
- 除雪や排雪時に支障となる箇所へはポール等の目印を設置願います。

除雪期間は、翌年3月25日まで。委託される除雪業者は次のとおりです。

- |                                    |   |
|------------------------------------|---|
| ◇昭和・旭地区<br>山本建設工業(株) ☎65-3141      | ◇南長島・香川地区<br>苫前建設工業(株) ☎65-3309         |
| ◇旭・四線沢地区<br>(有)大川商店 ☎65-3035       | ◇北長島・九重地区<br>橋場建設工業(株) ☎65-3900         |
| ◇苫前地区<br>千葉建設(有) ☎64-2819          | ◇古丹別地区<br>渡部工業(株) ☎65-3055              |
| ◇港・三豊地区<br>千葉建設(有) ☎64-2819        | ◇小川・岩見・東川地区<br>林商会 ☎65-3304             |
| ◇北香川・上平・力屋地区<br>(有)北進産業 ☎64-2152   | ◇小川地区(防災ダム道路)<br>林商会 ☎65-3304           |
| ◇幹線道路(旧直営路線)<br>山本建設工業(株) ☎65-3141 | ◇三溪地区(苫前ダム道路)<br>ハラダ工業(株) 苫前支店 ☎65-3702 |
| 橋場建設工業(株) ☎65-3900                 |   |

除雪のお問い合わせは

苫前道路維持管理  
事業協同組合  
☎65-3055  
苫前町役場建設課土木係  
☎64-2315

地域社会貢献事業 まちの施設を整備していただきました

速乾性手指消毒剤の寄贈

北都・初山別土建・千田工共同企業体

羽幌原野古丹別(停)線交安工事を行っている北都建設工業株式会社(春木啓孝社長)、初山別土建株式会社(麻里隆三社長)、株式会社千田工務所(千田等社長)の3社が11月11日(水)町長室において速乾性手指消毒剤を寄贈した。

今回、設置場所の指定がないため、本町ではインフルエンザの流行の兆しがあることから、各小中学校へ配置されることとなった。本町では児童生徒へのインフルエンザ等の感染防止を目的に学校へ消毒剤を設置しているが、学校閉鎖になるところもあるため、大変助かりました。ありがとうございました。



古丹別バスターミナル周辺歩道インターロッキング補修

増毛土建株式会社

11月23日(月)古丹別バスターミナル周辺歩道インターロッキング部分の補修を古丹別川広域河川改修工事を実施している増毛土建株式会社(山郷和彦社長)が実施した。

この部分は、長年の使用によりインターロッキングのゆがみが発生しており、バス停を利用される方がつまづくなどの危険がありました。

今回の申し出により歩道の凹凸も解消され、高齢者の方でも安心して歩くことができるようになりました。ありがとうございました。





# お知らせ

## 年末年始の町内各施設・機関の業務

年末年始の町内各施設・機関の業務については、下記のとおりとなっております。  
なお、ご不明な点などありましたら、各担当窓口までお問い合わせ下さい。

### ごみ収集車の運行

年末：12月29日（火）まで平常どおり収集  
年始：1月4日（月）から平常どおり収集

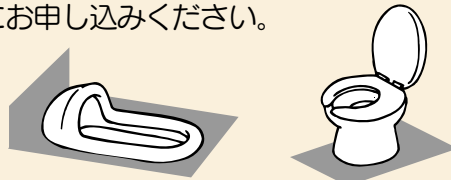
#### 【お問い合わせ】

町民課けんこう係  
☎ 64-2215



### し尿くみ取り業務

年末：12月25日（金）まで平常どおり営業  
年始：1月6日（水）から平常どおり営業  
12月15日以降の申し込みについては、年内のくみ取りができない場合がありますので、お早めにお申し込みください。



### 歯科診療所の診療

年末：12月28日（月）古丹別 } いずれも  
          29日（火）苦前 } 午前まで診療  
年始：1月6日（水）古丹別 午後から診療  
          5日（火）苦前 14時から診療  
〔休診日〕12月30日（水）  
          から1月4日（月）

#### 【お問い合わせ】

町民課けんこう係  
☎ 64-2215

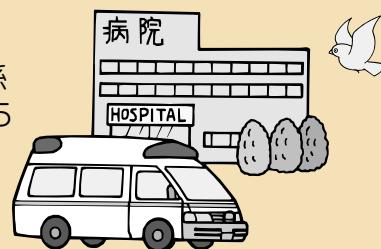


### 患者輸送車の運行

年末：12月29日（火）まで平常どおり運行  
年始：1月4日（月）から平常どおり運行  
〔運行休止日〕  
12月30日（水）から1月3日（日）まで

#### 【お問い合わせ】

町民課けんこう係  
☎ 64-2215



### ななかまどの館公衆浴場

年末：12月30日（水）まで平常どおり営業  
          31日（木）午前11時から  
                  午後3時まで営業  
年始：1月4日（月）から平常どおり営業

#### 【お問い合わせ】

ななかまどの館  
☎ 65-4351

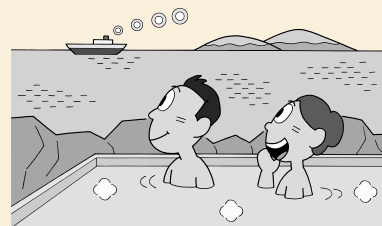


### とままえ温泉ふわっと

年末、年始は平常どおり営業。

#### 【お問い合わせ】

とままえ温泉  
ふわっと  
☎ 64-2810



### 苦前町公民館・図書室・福祉センター・スポーツセンター

#### ●公民館・福祉センター

年末：12月30日（水）まで平常どおり  
年始：1月6日（水）から平常どおり

#### ●公民館図書室

年末：12月30日（水）まで平常どおり  
年始：1月6日（水）から平常どおり

#### ●スポーツセンター

年末：12月30日（水）まで平常どおり  
年始：1月6日（水）から平常どおり



#### 【お問い合わせ】

教育委員会社会教育課  
☎ 65-4076

